

史泉

第五十三号

- 日本上代の火葬に関する二、三の問題……………網干 善教 (1)
- A・エヴァンズにおけるクレタの土器の研究……………勝又 俊雄 (21)
- 装飾様式と文様を中心として——
- 湖水船奉行……………藤田 恒春 (37)
- 芦浦観音寺第九世詮舜を中心に——
- 藤原惺窩研究……………長岡麻里子 (51)
- 関西大学考古学等資料「梵鐘拓本」資料と紀年名の記載形式について……………角田 芳昭 (58)
- 日本簡牘研究文献目録……………早苗 良雄 (73)
- 昭和五十二年度史学科卒業論文題目 (一部・二部・大学院)…………… (96)
- 都市に対応する農村地域の分析……………青木伸好・橋本征治
大石幸夫・平岡昭利
——岸和田における事例—— 柿原 昇 (1)

福尾猛市郎 日本史選集

A5版・九三四頁
頒価 一万五千元

発行

千五六四 吹田市山手町三丁目
関西大学文学部日本史研究室内
福尾猛市郎先生古稀記念会
振替口座 大阪七三二四五番

慈覚門徒と智証門徒の抗争について

近江商人の発生とその発展に就いて

徳川初期に於ける商業仲間の発生について

近世寺内町の性質

藤原兼実の時代とその浄土信仰に就いて

鎌倉時代における女性の財産について

日本中世の女性の地位

市町村史編纂の方法について

封建再編成期における集落自治の一樣相とその変貌について

和泉橋本氏と後南朝

讃岐国山田郡弘福寺領田図考

戦国期根来寺の大名領主性について

中世の大坂駅前地帯

「たたら」名義考

日本民族の一つの性向

曾根崎村と曾根崎新地

中世の大坂駅前地帯再論

和泉国近木荘

品部と雑戸の差異について

長州藩玉曆改革の意義と地元資本の育成

奈良時代における擬制同族的結合の意義

「浪速」・「難波」の名義に関する復古的提唱

長寛三年清原兼次讓状について

菱垣廻船十組問屋表店組成成立の前提

三吉鼓家文書

日本古代の「醬」の性質について

主水司所管の水室について

備後南部における初期明光派真宗教団に関する新知見

近世播磨龍野醬油の生産と流通

近世初頭における都市商業と商人の性格

江戸後期エトロフ島の開発と経営

近江八幡の安南渡海船額

大内文化

近江商人の活動を通じて観たる

下剋上の論理

瀬戸内海の歴史と文化

滄浪園の歴史

広島大学文学部所蔵猪熊文書について

日本古代庶民の家族形態と農業経営規模

羽柴秀吉と兵庫・三田両城

明光派教団と絵系図序題編年の研究

天正十九年の京都落首

下剋上の語義とその展開

海賊の頭領となった伊予掾

日本における家族結合の歴史的特性

近江商人前史研究の視点

名前の歴史

古代家父長制と母権制の実態

（目次の順序は執筆順による）

史 泉 第五十号

関西大学文学部史学科創設二十五周年記念
はしがき―史科学風風の発展― 横田 健一
丹波地方における古墳文化の諸相

陶棺考 玄野 暲
土師氏の研究 富田 好久
内侍 村津 弘明

律令官僚制成立過程の一視点 上井 久義
九世紀における地方行政上の一問題 松尾 大

延喜式神名帳の郡に関する一考察 波々伯部守
二宮 正彦

延喜諸陵寮式考 波多野忠雅
里見家蔵一山一寧賛「平沙落雁
図」について 斎藤 孝

室町初期における伊勢氏の動向 宮崎 隆旨
撰津国人領主塩川氏の記録 鶴崎 裕雄
近世城郭における石垣様式編年
の一考察 北垣聡一郎

寛永文化の一支流 田中 豊
天龍寺第二百九世・中山玄中和
尚について 泉 澄一
萩生徂徠と萩藩医中村家について

小笠原率兵上京事件と老中板倉

勝静 朝森 要

近世明治前期における家島
諸島の漁業形態について

天理教の朝鮮伝道 平岡 昭利

第一次大戦後における水質汚染

問題の概況 大谷 渡

八ヶ岳山麓野辺山開拓地におけ
る高冷蔬菜の生産構造

みたまのめし 宇田川勝司

死者の枕元に置く刃物と箒の意

味 田中 久夫

史 泉 第五十一号

関西大学考古学資料室蔵甲骨文
字

森川杜園の芸術における国学的
展開 伊藤 道治

江戸幕府紅葉山文庫旧蔵唐本医
書の輸入時期について

書評 浅井 允晶

『漢簡』居延漢簡(二)
泉澄一著『堺と博多―戦国の豪

商』 上野 正芳

早苗 良雄
田中 豊

史 泉 第五十二号

関西大学考古学資料「瓦経」片
の復原(その二)

山西商人茫毓嶺一族の系譜と事蹟 網干 善教

案山子の研究―その民俗史的考察― 松浦 章

江戸幕府紅葉山文庫旧蔵唐本兵
書の輸入時期について 近藤 直也

小アジアの遺蹟を訪れて―イスタンブールか
らディディマまで― 上野 正芳

勝又 俊雄

史 泉 第五十三号

昭和五十四年三月一〇日 発行

大阪府吹田市千里山

編集兼 発行 関西大学史学会

振替 大阪二六〇一六番

印刷所 株式会社印刷舎 朋 舎
京都市下京区中堂寺鍵田町二

柴田實先生
古稀記念

日本文化史論叢

昭和五十一年一月十一日 発行
B 5判九七六頁 頒価一八、〇〇〇円

柴田實先生略年譜及び著作目録

執筆者

赤田光男。赤松俊秀。秋山日出雄。熱田公。網干善教。池田源太。石沢 澈。石田善人。泉 澄一。泉谷康夫。伊藤唯真。井上秀雄。今中寛司。上田正昭。宇野茂樹。梅原隆章。上井久義。上横手雅敬。大山喬平。岡見正雄。門脇禎二。岸 俊男。北垣聡一郎。木下密運。兼廉保明。木村 寿。栗原 薫。小山仁示。斉藤 孝。坂田知己。桜井徳太郎。篠崎 勝。城福 勇。末尾至行。高瀬重雄。高取正男。高谷重夫。竹田聰洲。辰巨衛治。田中日佐夫。田中久夫。田中 豊。塚口義信。鶴崎裕雄。東郷松郎。鶴田忠正。戸田秀典。直木孝次郎。中村二柄。鍋田 一。二宮正彦。埜上 衛。橋本鉄男。畑井 弘。服部 敬。林屋辰三郎。平岡定海。平山敏治郎。福尾猛市郎。福島雅藏。藤本 篤。水野恭一郎。宮川 満。宮本又久。村川行弘。八木 充。山上伊豆母。山口光朔。横田健一。若林喜三郎。脇田 修。

申込先・発行 千564吹田市山手町三丁目

関西大学文学部史学科研究室内

柴田實先生古稀記念会

横田健一先生
還暦記念

日本史論叢

昭和五十一年九月三日 発行
A 5判一〇一〇頁 頒価一五、〇〇〇円

横田健一先生略年譜及び著作目録

執筆者

角山幸洋。勝部明生。兼廉保明。富田好久。石野博信。菅谷文則。榎本誠一。鳥越憲三郎。塚口義信。河上邦彦。亀田 博。吉岡哲。網干善教。有坂隆道。上井輝代。岸 俊男。松尾 大。西川重幸。波々伯部守。小野勝年。遠藤順昭。岡幸二郎。井上正一。波多野忠雅。高橋隆博。上井久義。田中久夫。藺田香融。福尾猛市郎。大山喬平。湯川敏治。二宮正彦。茨木一成。宮崎隆旨。斉藤 孝。井上薫。鶴崎裕雄。久下隆史。山本四郎。田中 豊。泉 澄一。北垣聡一郎。藤本 篤。玄野 疆。浅井允晶。朝森 要。古西義麿。井阪康二。服部敬。末尾至行。広岡俊二。松岡文平。芝村篤樹。小田康徳。小山仁示。竹田聰洲。

申込先・発行 千564吹田市山手町三丁目

関西大学文学部史学科研究室内

横田健一先生還暦記念会